

野尻中学生が所属する野球チームが 創部3年目で全国3位の快挙！

8月25日、渡琉雅さん（野尻中3年）が所属する CLOVERS MIYAZAKI が横浜スタジアムで行われた第42回全日本少年軟式野球大会 全国大会で3位入賞したことを市長に報告しました。渡さんは三塁手を務め、ピンチの場面でも安定した守備力を発揮。打撃ではバント職人として、チャンスを広げるなどチームの勝利に貢献しました。



渡さんは「1試合1試合が厳しい戦いだったが、チームのみんながそれぞれやるべきことができ、粘り強さを活かして勝つことができた」と話しました

小林工業高校卒業生が秀峰高校に寄付

8月16日、小林工業高校還暦同窓会（月野幸夫会長）が小林秀峰高校特別後援会に20万円を寄付しました。寄付金は同校部活動が全国大会などに出場する際に活用されます。月野会長は「子どもたちの活動に少しでも役立てていただければ」と話しました。



梨とブドウの出来を競う品評会開催

8月25日、市果樹農業振興推進対策協議会の梨ブドウ品評会が行われました。生産者8人が出品し、栽培技術や品質を競いました。【結果（優等のみ、敬称略）】
■ニューピオーネ…種子田健太郎 ■シャインマスカット…永迫周一 ■豊水…種子田健太郎



地域共生社会の実現のために 第2回地域づくり福祉大会を開催

8月23日、市社会福祉協議会（倉田富夫会長）が第2回地域福祉づくり大会を開催しました。これは多様化する地域住民の生活課題に対応していくため、地域の全ての人たちが助け合い暮らしていく「地域共生社会」の実現を目指し、昨年から開催しているもの。参加者は、地域で支えあう福祉のまちづくりへの理解を深めました。



大会では福祉協力員の活動発表や「住み慣れた地域に暮らし続けるために私たちにできること」と題した社会福祉士の津曲弘志さんの講演がありました

「子どもたちの熱中症対策に使う」 子供服企業がネッククーラー寄贈

8月27日、子ども服を中心に、企画・販売を行うアパレル企業の株式会社F・O・インターナショナル（秦英貴代表取締役社長）が市に熱中症対策として活用できるネッククーラー「ICE RING」1000個を寄贈しました。これは、近年深刻化する猛暑から子どもたちを守ることを目的に、同社が企業版ふるさと納税を活用し実現したものです。



寄贈されたネッククーラーは、受け取りを希望する市内の認定こども園や保育園など23施設に配布。子どもたちの熱中症対策などに活用されます

姉妹都市同士の友好の架け橋に 石川県能登町の「姉妹都市友好使節団」が来市

8月17日から19日までの3日間、姉妹都市の能登町から16人の中学生が市を訪れました。これは、姉妹都市として友好を深めるため、毎年交互に中学生が互いのまちを訪問して交流しているもので、小林市からは10人の中学生が参加。市の歴史や文化などを紹介したほか、夕食会では市内農畜産品をふるまうなどして交流を深めました。さよならの会で能登中3年の吉野若菜さんは「バスの中から見た火山灰で白くなった草や木が印象に残っている。小林市の人たちも私たち能登町と同じで、自然とともに過ごしているのを強く感じた」と話していました。

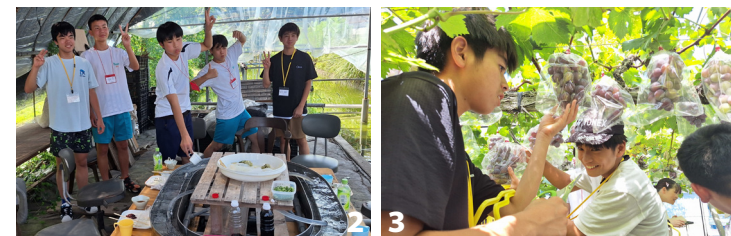


Photo1 夕食会ではジュースを片手に笑顔で乾杯 2 農家民泊では豊かな自然の中でそうめん流し 3 市の特産品である「ぶどう・なし狩り」を観光農園で体験 4 さよならの会では仲良く全員で「能登半島ポーズ」を披露

小林市の安心安全な和牛に関心 アゼルバイジャン駐日大使が来市

8月19日、カスピ海西岸にあるアゼルバイジャンのギュルセル・イスマイルザーデ駐日大使が市を訪れました。訪問は大使が小林市の豊かな自然で育った安心安全な牛肉に興味を持ったことで実現したもの。大使らは市内で和牛の繁殖から肥育まで、一貫経営を手掛ける牛商丑力 株式会社（富永正久社長）の牛舎の視察なども行いました。



ギュルセル大使（写真⑥から3番目）は「アゼルバイジャンでは宮崎を知らない人が多い。交流を進め、将来的に母国への輸出などにつながれば」と話しました

地域全体で看護師の確保を目指す 西諸地域看護師等養成所連絡会

8月18日、西諸地域看護師等養成所連絡会が小林看護医療専門学校で開かれました。全国的に進む看護師不足に備え地域で看護学生の確保につなげようと開かれたもので、会では同専門学校卒業生の看護師国家試験合格率100%であることなどの実績を報告。地域医療を担う人材の育成と地域への定着促進などについて意見が交わされました。



会には、西諸医師会、西諸地域の首長や教育長、小・中・高校の代表者など計30人が出席。現状や今後の対策について情報交換が行われました

北西3区を祭りで元気にしたい 「三世代ふれあいまつり」初開催

9月13日、北西3区初の祭り「三世代ふれあいまつり」が西ノ原農村集会所で開催されました。少子化などで地域の催しが減る中、地域住民同士の顔の見える関係づくりを進めることが目的。祭りは、西小林中学校吹奏楽部などの演奏に始まり、地域の郷土芸能「西ノ原鎌之手踊り」の披露などが行われ、会場は多くの笑顔であふれていました。



同まつり実行委員会の水瀧義信会長は「地域に少しでも活気を、と思い計画した。初開催で大変だったが多くの出人に、驚きとうれしい気持ち」と笑顔でした

野菜の力について理解を深める 野菜ソムリエによる出前授業

9月12日、野尻小学校で3、4年生を対象に野菜に関する出前授業が行われました。市在住の野菜ソムリエの大角恭代さんを講師に迎え、野菜の栄養や免疫力向上効果などを知り、その必要性について学習。授業では実際に、きゅうりを食べて、どの食べ方が一番おいしいかなど楽しみながら野菜について理解を深めていました。



森山綾太さん（3年）は「今回の授業を受けて野菜の力を知ることができた。これからは苦手な野菜も食べられるようにしていきたい」と笑顔で話しました

乳がんの早期発見と早期治療を促す 小林法人会女性部会の乳がん検診

8月31日、小林法人会女性部会（湯田清子部会長）が八幡原市民総合センターで乳がん検診を行いました。これは、乳がんの早期発見・早期治療を目的に同会が費用を一部助成して毎年実施しているもので、今年で21年目。Inbody（体組成計）などのヘルスチェックも同時に行われ、受診した約30人は健康について理解を深めていました。



湯田部会長は「これまでの検診でがんが見つかった人もいる。早めに乳がん検診を受けて早期発見と早期治療につながってほしい」と話しました

自転車の正しい交通ルール学ば 外国人向け自転車安全運転講習会

8月31日、市内で生活する外国人に自転車の正しい交通ルールについて学んでもらおうと、外国人技能実習生を対象にした講習会を開催しました。講習会には、野尻町の農業法人「四位農園」で働くベトナムやインドなどの技能実習生ら約30人が参加。身近な移動手段である自転車の交通ルールについて理解を深めていました。



講習会では、信号無視や一時不停止といった交通ルールの説明をしたあと、参加者がシミュレーターを使い、運転時に起こりうる危険を体験しました

栗須小卒業生が「なかよしの像」を修復

栗須小学校昭和50年度卒業生（山之口ナリ子代表）が卒業時に建てたなかよしの像の修復と同校への寄付を行いました。



これまで学校で大切にされてきた、なかよしの精神を今後も未来に引き継ぎたいと、同校創立150周年を契機に同級生で声をかけ合い実現したものです。

夏の暑さを笑顔で吹き飛ばす 第4回シン・こばやし夏まつり

9月14日、第4回シン・こばやし夏まつりが昼と夜の2部制で開催されました。昼の部は、小林駅横ふれあい広場で子ども向けに水鉄砲大会やスケボー・ストライダー体験などを実施。夜の部は、駅南公園でお楽しみ抽選会やステージイベントのほか、地元の屋台やキッチンカーなどが並び子どもから大人まで小林の夏を楽しみました。



KITTO 小林の2階では昨年続きお化け屋敷を開催。例年行列ができるほど人気のイベントで、会場には子どもたちの悲鳴が響き渡っていました

南小で大萩康司さんのミニコンサート

9月5日、こばやしふるさと大使を務める市出身のクラシックギタリスト大萩康司さんとバンドネオン奏者の北村聡さんを招いた音楽鑑賞会が南小学校で行われました。



南校区まちづくり協議会の協力で実現したもので、子どもたちはきれいな音色に聞き入っていました。

3年目となった防災毛布の寄贈 青山商事㈱と防災に関する協定締結

9月12日、洋服の青山などを全国に展開する青山商事株式会社（遠藤泰三代表取締役社長）と防災に関する連携協定を締結しました。同社は毎年店頭で下取りしたスーツなどから作られた防災毛布を市に寄贈しており、今年も100枚を寄贈。小川誠取締役は「小林市の地域防災力の向上に少しでも役に立てれば」と話していました。



県内自治体で初となる同社との協定では、災害発生時に防災毛布や衣類などを提供することや、調達の支援に関することなどが確認されました

子育て支援の担い手を広げる まかせて会員養成講座開催

9月6日、保健センターでまかせて会員養成講座が行われました。講座では児童相談員や救急救命士などが指導。参加した17人は子どもの健康や発達、緊急時の対応などを学びました。会員は同センター内にあるファミリーサポートセンターを通じて、生後3カ月から小学生までの子どもの一時預かりや保育園への送迎などを支援します。



受講した海江田千代子さんは「子育ての色々な危険と子どもを楽しませる技術を学べた。今回習ったことを実践でも活かしていきたい」と話しました